

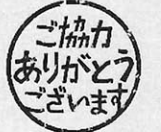
よっ葉だより

2023年
4月3日号
No.738

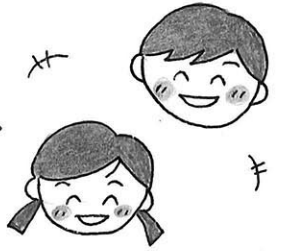
◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆



栃木県 860
茨城県 862



春のお誘いキャンペーン 3月21日からはじまりました!
“いのちと健康 暮らしを守る”
より良い暮らしに 寄り添うよっ葉



「子どもたちに安全な食べ物を」と、組合員自ら立ち上げて40年。よっ葉生協は地域生協として、組合員・地域の皆様の暮らしがより良いものになるよう、「地産地消・有機農業の推進」を大切にしながら活動を広げてきました。コロナ禍で気づいた免疫力の大切さ。毎日の食材を、つくる人の暮らしにも思いを馳せながら、“いのちと健康”を基準に選んでいくことが、私の「より良い暮らし」から地球、日本、そして世界全体の「より良い暮らし」につながっていく様に思います。

誰一人とり残さない、持続可能な未来を子どもたちに残すために、もっともっと仲間を増やしていきましょう！お友達、ご近所、親戚の方を誘ってみませんか？

よっ葉生協は

- ① コロナ禍も災害時も、しっかりと食材を届けてきました！
- ② 予防原則に立ち食の安全にこだわった食材で、家族の免疫力アップに貢献。
- ③ 地産地消・有機農業をすすめ、生産者の顔が見えるつながりを大切にしています。

<キャンペーン特典>

会員割引 おひとり紹介加入につき 2000円割引

新規加入 個人宅西己 / 2名共同

10週間宅西己料無料+商品割引券1000円

妊産婦さんにはボックスベビーシリーズサンプルと農薬不使用米1kgをプレゼント。

キャンペーン期間 6月20日まで

2021年度入協の大塚職員が配送業務を卒業して、今春から普及推進部(宇都宮営業所)に西己属となりました。只今、本部事務所内で各部署石開中です。

西己送でお世話になった組合員の皆様ありがとうございました。そして普及活動にて出会う組合員の皆様、よろしくお願ひ致します♡

まずはコチラをお試しください。

お試しセット
¥1,000相当 → ¥500 (税込)

※組合員様はご利用いただけません。※写真はイメージです。
※お1人様どちらか1セットの販売とさせていただきます。

Aセット



●丹沢農場 (神奈川県登川町) 丹沢高原豚 モモしゃぶしゃぶ

●JAやさと (茨城県石岡市) やさと産直卵

●鎌倉ハムクラウン商会 (神奈川県) ロースハムスライス

●こいしや食品 (栃木県) 北海道産丸大豆 100%使用 大谷石室熟成納豆

Bセット



●タカサコ (栃木県) 国産小麦のバター食パン

●鎌倉ハムクラウン商会 (神奈川県) あらびきウィンナー (2パック)

●よっ葉乳業 (北海道) よっ葉のヨーグルト

●よっ葉乳業 (北海道) よっ葉牛乳

組合員さんには
ご利用いただけません



2月24日(金) よつ葉の広場～話・輪・WA～in 宇都宮開催しました!

少人数でもギュッと濃い時間が過ごせたと思います。今回は食育担当の松下さんにもきていただきました。市販品との違いを知り、よつ葉のよさを再度深めて、家族の健康に繋げていけるように具体的にお話していただきました。よつ葉生協の進める10の取り組みの事。食を選ぶ上で知っておきたい大切な事。絶対に避けたい食品添加物の事など。

聞きながら聞いている参加者の方々が印象的でした。「活字で情報を読んでいく事も大切だけど、こうして、お話を聞ける事はよりスッと自分の中に入りますね。」とおっしゃっていたように直に学ぶ事は大切ですね。これからも共に学び合い、交流出来る場を作って行きたいと思います。

(理事 渡辺)



「松下さんの食育のお話」



どんぐりくらぶ産地見学

1月の末、原木しいたけ栽培をしている「どんぐりくらぶ」の高橋農園に伺いました。しいたけはどんな風に生えているのだろうかとワクワクしながら見学させていただきました。



ビニールハウスの中の原木しいたけ
「冬なのに暖かい」

原木しいたけとは、ナラやクヌギなどの原木にしいたけ菌を植え付けて栽培する日本古来の伝統的な栽培方法です。木を細かく砕いたおが粉などを使う菌床栽培に比べ、重労働で手間がかかるため生産者の数は減少し、生しいたけにおける原木栽培の国の栽培は大変だけれど、美味しい原木しいたけを育ててくれます。そして、栽培期間中にポストハーベストも含め、農薬と化学肥料を全く使用せず育てていると高橋さんから聞きました。ハウス内の原木を見ると、しいたけ菌ではない様々な色の菌類が付着しているものもあります。適温を保ちつつ他の菌に目を行い、数少ない安心な原木しいたけを食卓に届けてくださっているんですね。

「どんぐりくらぶ」のしいたけが家に届くと、一緒に入っている10cm四方紙のメッセージにお気づきでしょうか。どんぐりくらぶでは原木しいたけを育てるだけではなく、40年ほど前から化学燃料を使わない脱炭素に関する取り組みを始めています。原木しいたけ栽培の役目を終えたホダ木を暖房の燃料にしたり、専用の焼却炉からできる炭にしたりしています。

このバイオ炭は、炭にして地中に撒くことで炭内に含まれる炭素を土壌中に閉じ込められます。そして、炭を畑や家庭菜園に撒けば土壌改良剤としても利用できるという一石二鳥なもの。しいたけも「止めよう!地球温暖化」も学んだ産地見学でした。

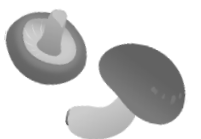
(まんまの会 増山)



焼却炉の中のホダ木「バイオマス暖房の燃料」



バイオ炭「チップ状のバイオ炭」



1. 化石燃料を使わないバイオマス暖房

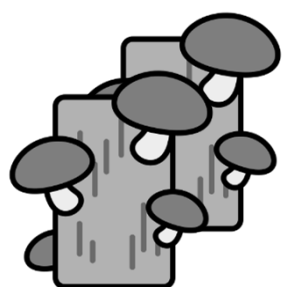
- 高橋農園では、しいたけ栽培用ビニールハウスの暖房には、化石燃料を使いません。
- 40年ほど前から、使用済みのホダ木を燃料としたバイオマス暖房を行っています。(CO2排出量の削減)



バイオ炭の効用

- バイオ炭を畑や家庭菜園に施用すると土壌改良材になります
- ① 土壌の透水性や保水性が向上します。
- ② 保肥力が向上します。
- ③ ミネラルを補充します。
- ④ 土の保温効果があります。
- ⑤ 土壌の中和作用があります
- ⑥ 水質を浄化します。
- ⑦ 土の団粒構造を促進します。
- ⑧ 土壌中の有用微生物の繁殖を助けます。

「バイオ炭(炭の土壌改良材)の普及に関する実践的調査研究」
財団法人 中部産業・地域活性化センター編から抜粋



たんぱく加水分解物・酵母エキス・発酵調味料ってどんなもの??

昨年11月29日にまんま委員会が開催した「みんなで学ぼう くらの基準！」(よつ葉だより 2/27号でご報告)の際に、講師としてお越しいただいた創健社の鳥沢さんに委員会から「特に原材料のたんぱく加水分解物・酵母エキス・発酵調味料について知りたい」と質問がありました。創健社から見解をいただきましたので、ご紹介します。



たんぱく加水分解物

たんぱく加水分解物は酵素分解・塩酸分解があり、特に塩酸分解で作られたものは発がん物質を含むため、諸外国では、輸出入禁止の国もあります。よつ葉生協では、安全とされている酵素分解のみ商品使用基準を認めています。なぜ、たんぱく加水分解物を使用するかというと、たんぱく加水分解物は、加工食品のうま味の付け足しに重宝されています。特に、日本では食品扱い(添加物扱いではない)の為、昨今、食品添加物を嫌らう消費者が増えたため、うま味調味料のアミノ酸等などを使用しない代わりに使われていることが多いです。よって、企業側のメリットは、無添加という事が表現できることとなります。

酵母エキス

弊社商品に使用している「酵母エキス」は、培養された酵母を分離し、それに酵素を作用させて分解した物や、また一部商品では、酵素は使用せず酵母自身の自己消化により出来たものを使用しています。尚、弊社では、酵母エキスは風味の観点からどうしても必要な場合に使用致しますが、その場合、原料・副原料・製造工程を調査し、添加物や遺伝子組換え等問題無いと判断出来るものを選択し、最小限使用する事としております。

発酵調味料

発酵調味料は「味の母」のようなものもありますし、小麦を発酵させたもの(大豆を使用しない醤油のようなもの)、小麦・大豆を発酵させて酵母エキスを加えたもの等多種ありますので、一概には説明が難しいと思います。



同じ名前でも、製法や原材料によって安全性が大きく異なることがわかりますね。表示をしっかり確認することと同時に、信頼できる生産者さん、業者さんの物を選ぶこともとても大切です。

文化イベント情報

■各イベントのお問い合わせは、直接主催者または連絡先にお問い合わせいたします。

農薬に頼らない栽培へ「ネオニコフリー学習会」

生協ネットワーク21 連携開催

第1回

「ネオニコ系農薬にたよらない有機栽培を学ぼう」

日時：4月27日(木) 10:00~12:00

講師：小祝 政明さん(日本有機農業普及協会代表)

申込締切日：4月14日(金)

ネオニコチノイド系農薬は神経をかく乱することで虫を退治しますが、同時に、人にも地下水にも影響を及ぼしてしまいます。植物が持つポテンシャルを最大限に引き出して、病害虫に負けずに育てる土づくりとは?BLOF(Bio Logical Farming 環境製造型農業)理論についてみんなで学びましょう。

オンライン開催 1回のみ参加もOK!

友好生協のネットワークと一緒にネオニコフリー&有機農業を広げましょう♪

*このイベントは、よつ葉生協ホームページから受け付けます。

[資料請求・ご入会・お問い合わせ](#)から[イベントの申し込み](#)をクリックして下さい。

*問合せ よつ葉生協 TEL 0120-07-1613 堀まで

第2回

「ネオニコ系農薬の脳神経への影響と、農薬リスクの評価の仕組み」

日時：5月29日(月) 10:00~12:00

講師：星 信彦さん(神戸大学大学院教授)

申込締切日：5月16日(火)

星先生の研究では「これ以下なら異常が認められない」と国が定めた量でも、ネオニコチノイドを与えたマウスに異常が認められました。脳神経や腸内細菌叢に与える影響、母子間移行、世代を超えた影響など、さまざまな実験データから教えていただきます。また、現在行われている「農薬再評価(登録農薬の安全性に関する審議)」の最新情報もお話しいただく予定



「トルコ・シリア地震緊急支援募金」 ご協力ありがとうございました

2月6日に発生しましたトルコ・シリア地震は甚大な被害と、回復が見込まれない程の困難な状況が続いております。

両国の亡くなられた方は52,000人にもなり、シリアについては政情不安定のため、正確な情報が届いておりません。寒さが続く中で、関連死の被害も続いています。

よつ葉生協に組合員の皆様から寄せられた支援募金は、2,312,500円と多額のご協力をいただきました。全国の生協が中心になり、日本ユニセフ協会へ送金し、トルコ・シリアの子ども、家族への安全な飲み物、医療、衛生用品などの現地支援に役立てられます。

現地で直接支援活動をしてくれる団体としてユニセフは特に、子どもを中心にサポートしています。

被害が大きかったアレッポは、日本にも「アレッポの石けん」

で有名な地域ですが、紛争が12年間にも及び、建物やインフラ、学校が破壊されていた中での大地震で、二重、三重の苦しみを受けていると報告されています。

負傷者が10万人以上とも言われ、長期的な支援が必要ということユニセフのシリアスタッフが要請しています。

よつ葉生協の組合員からの募金は、現地の子どもの命を救い、健康を取り戻し、教育が受けられる支援の一助になると強く思います。諸外国からの支援のありがたさは、2011.3.11の東日本大震災で、日本が深く感じたことです。

組合員一人ひとりの思いが、トルコ・シリアの子どもの未来に陽を指してくれると信じます。

ご協力に心から感謝致します。

<理事会>

群馬県コロナ募金を終了します

2020年10月1週から続けてきた新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金へのご協力ありがとうございます。

先日群馬県から、新型コロナウイルスの5類移行に伴い3月末日を以ってコロナ募金を終了すると通知がありました。よってよつ葉生協での募金(群馬県861番)も終了します。2年半にわたるご協力に感謝いたします。3月20日時点の送金総額は724,600円でした。

3月21日(火)以降によつ葉生協で受け付けた募金は、組合員へ返金処理をさせていただきますのでご了承ください。

まだまだ終息に至らない状況下で、生活支援を必要としている方々がおられます。

栃木県860と茨城県862については、引き続き継続しております。ご協力、ご支援をよろしく願いいたします。

(理事長 三輪)

よつ葉太陽光発電報告

○2023年1月24日から2月23日(31日間)の太陽光発電量は、13,993kWhでした。CO2削減量は4,401kg(18Lの灯油缶を185本燃焼した量)です。

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告(3月4週分)

ご協力ありがとうございます。組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています (単位:円)

栃木コロナ支えあい基金 (860番)	4,000
群馬コロナウイルス対策募金 (861番)	2,700
茨城誰かのために募金 (862番)	1,400
合計	8,100

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。WEB注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。一口100円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告(3月4週分)

ご協力ありがとうございます。組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	7,200
震災孤児を支援する募金 (910番)	19,800
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	6,600
合計	33,600

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。WEB注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。一口100円の募金になります。

組合員さんの声

秋山さんの落ち葉さらい、ぶらり蔵の街とちぎ、日本刺しゅうを学ぼう、お世話になりました。フワフワの落ち葉を踏んぐ瞬間、小さく踊っていた(60代)私。神明宮にパワースポットが…。元気をチャージに又、近々伺うかもしれません。絹の生地には絹の糸「スゴイ」「きれい」ただ6語です。日本刺しゅう、未長く継続して頂きたいと思いました。

新年早々、たっぷり自然に感謝しながら良いスタートができました。ありがとうございました。

よつ葉生協の行事へのご感想です。(栃木地区 K.Sさん)

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <https://yotsubacoop.jp/> メールアドレスが変わりました。

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp



ホームページ



Facebook



Instagram